

留学先大学： Karl-Franzens-Universität Graz留学先での所属学部・研究科： Sozial- und Wirtschaftswissenschaftlichen Fakultät留学先での在籍身分： Joint Study Programmeの交換留学生留学期間： 2012 年 9 月～ 2013 年 12 月神戸大学での所属学部・研究科： 経済学部学年（出発時）： 3本報告書記入日： 2013 年 9 月 12 日**授業について**

留学中に履修した授業について記入してください。

No.	コース名	教授名	時間数 /週	留学先 での単 位数	履修し ている 学生数	予習, 復習, テスト等についてアドバイスも含めて教えてください。
1	German CourseB1/1	H. Turba	90分	3 E C	20	習った文法事項の復習が重要です。テストは筆記及び口述です。
2	German CourseB1/2	H. Turba	90分	3 E C	20	習った文法事項の復習が重要です。テストは筆記及び口述です。
3	German CourseB2/1	B. Simschitz	90分	3 E C	20	多くの予習が必要です。テストは筆記及び口述です。
4	German CourseB2/2	E. Seidl	90分	3 E C	20	宿題量が多く、予習復習が極めて大変です。テストは筆記及び口述です。
5	Business German	A. Schrabberger	90分	3 E C	15	宿題、筆記テスト、プレゼンテーションで成績が決まります。
6	German Culture and Society	H. Turba	90分	3 E C	10	テストはありません。プレゼンテーションで成績が決まります。
7	German, Language Proficiency 2, Level B2	B. Simschitz	90分	3 E C	15	口述テストとプレゼンテーションで成績が決まります。
8	German CourseA2/2	B. Simschitz	90分	3 E C	15	テストは筆記及び口述です。
9	Chinese CourseA1/1	H. Yang	90分	3 E C	15	クラスメイトとの対話の多い授業でした。テストは筆記及び口述です
10	Chinese CourseA1/2	H. Yang	90分	3 E C	10	クラスメイトとの対話の多い授業でした。テストは筆記及び口述です

授業（カリキュラム等）のクラスのサイズ、成績評価、現地学生の取り組み等

授業は講師によって差が非常に大きいです。クラスは20名前後以下の少人数が基本でした。成績評価はテスト結果と出席によって判断されます。出席さえしていれば基本的にはテストの結果が悪くとも単位を修得することは可能です。語学コースは出席が厳しいので大半の学生が真面目に参加していました。しかし、遅刻や宿題及び予習の忘れが大変多いです。

費用について

留学期間を通して必要だった費用を記入してください。（概算で結構ですので、円価で記入してください。）

・航空運賃： 170,000円・住居費：（月額） 25,000円 ×（留学月数） 10 ヶ月 = 250,000円・食費：（月額） 30,000円 ×（留学月数） 10 ヶ月 = 300,000円・保険料： 180,000円・その他： 700,000円合計： 1,420,000円 （留学期間全体の費用）

その他 自由に記入してください。（800字～）

交換留学は私費留学と違い費用が格段に少なく済みます。授業料の面だけでなく、奨学金獲得の機会も私費語学留学よりも遥かに多いです。留学を検討するならばまず交換留学を考慮した方が良いでしょう。更に、現地の語学学校に通うことが主である私費語学留学とは違い、交換留学では現地の大学の正規学生として学ぶことが出来ると言う最大の利点があります。この理由から、交換留学は私費語学留学よりも現地の人と関わる機会を多く持てます。

留学中に語学力を向上させるには現地の人との交流が最も有効です。積極的に交友関係を広げていくことが極めて重要です。日本人のコミュニティでは母国語で会話出来るので意思疎通に関しては日本語を話さない外国人と意思疎通するよりも障壁が少ない為、多くの日本人が日本人コミュニティの中に閉じこもりがちです。最初は苦勞するかと思いますが、日本人との交流は極力最小限に止めておくのが良いです。

現地学生以外にも様々な国からの留学生がいます。日本には殆ど留学しに来ないような国の留学生と出会える機会もあります。多くの国の人と知り合うことでより感性の幅を広げられると思います。

留学中は海外に住居があるので、旅行がし易いです。実際に都市を訪れることでその地域に対する知識が広がります。日本社会では就職後に長期休暇を取ることが難しい場合が多いので、学生の機会に様々な見識を広げておくことが重要だと思います。

留学をきっかけに得られた経験で将来の進路選択が大きく変わることになる可能性もあると思うので、一日一日を有意義に過ごすことが出来るように心がけておくことが大切です。

何より、留学生活では日本ではなかなか経験出来ないことも経験することが出来ます。例えばオーストリアではクラシック音楽が盛んなので、日本以上にコンサートやオペラといったものに触れる機会があります。それらの内一部は学生向けに安価でも提供されているので敷居も低く、自分自身を文化的に成熟させる良い契機になります。